

宇城八か町村清掃施設地質調査業務委託

地質調査報告書

上記委託調査につきまして、ここに御報告
申し上げます。

平成 7年 6月

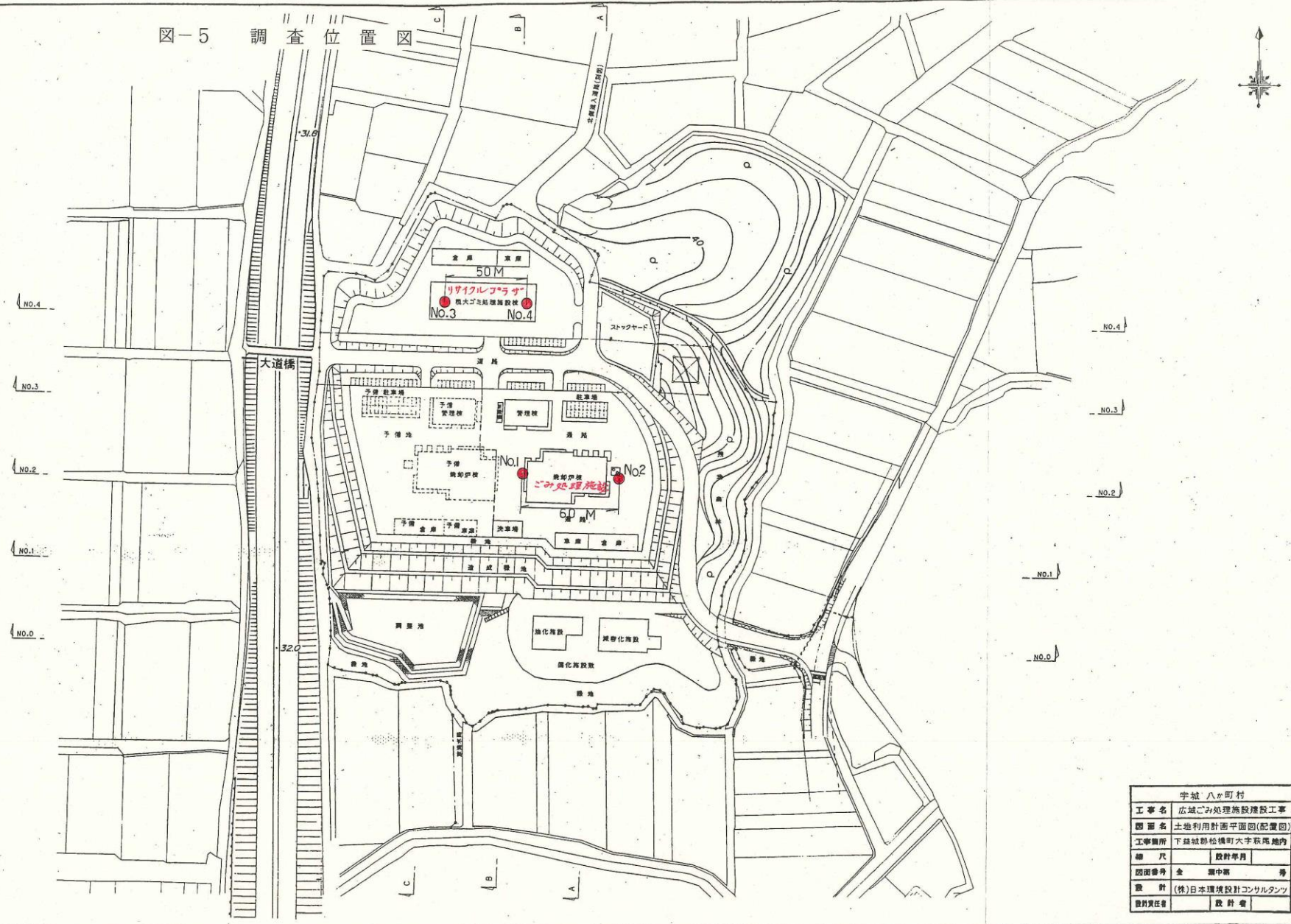


有限会社 宮崎地質コンサルタント
〒869-05 熊本県下益城郡松橋町松橋 605-4
電話 (0964) 33-2645



宇城八か町村 清掃施設組合
組合長 中原典男 殿

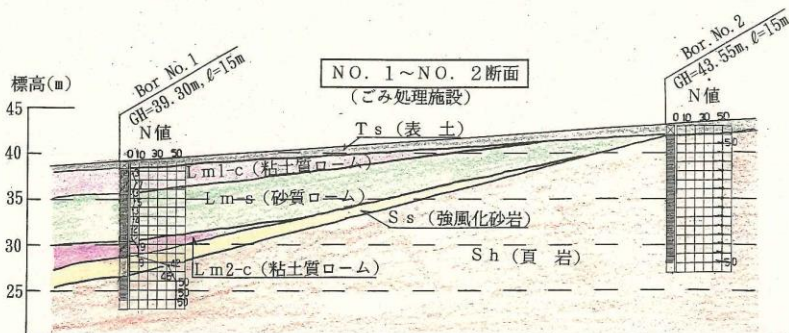
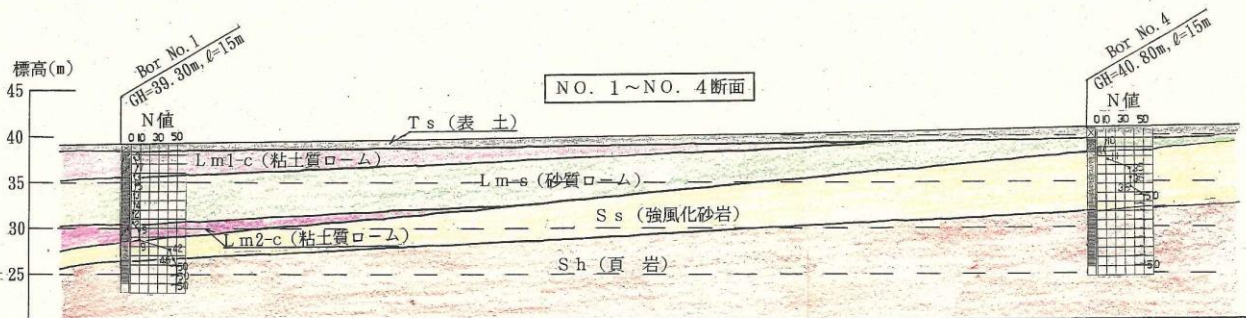
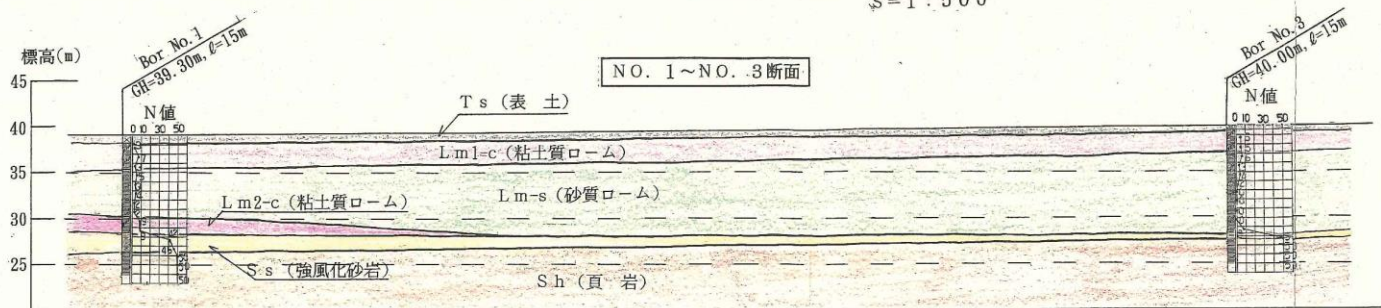
図-5 調査位置図



宇城 八ヶ町村	
工事名	広域ごみ処理施設建設工事
図面名	土地利用計画平面図(配置図)
工事箇所	下益城郡松橋町大字鉄路地内
縮尺	設計年月
図面番号	全 第 中 第 号
設計	(株)日本環境設計コンサルタンツ
設計責任者	設計者

図-6 推定地層断面図 (その1)

1:500

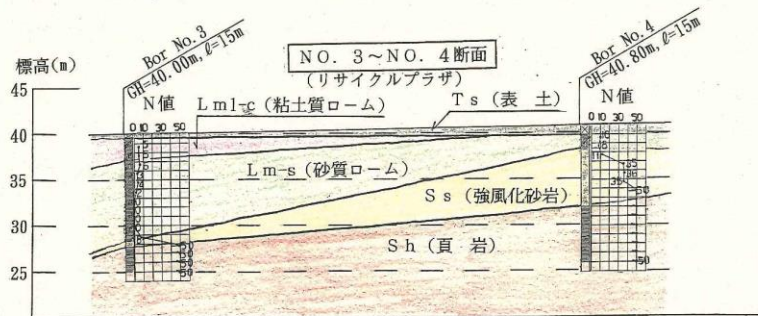
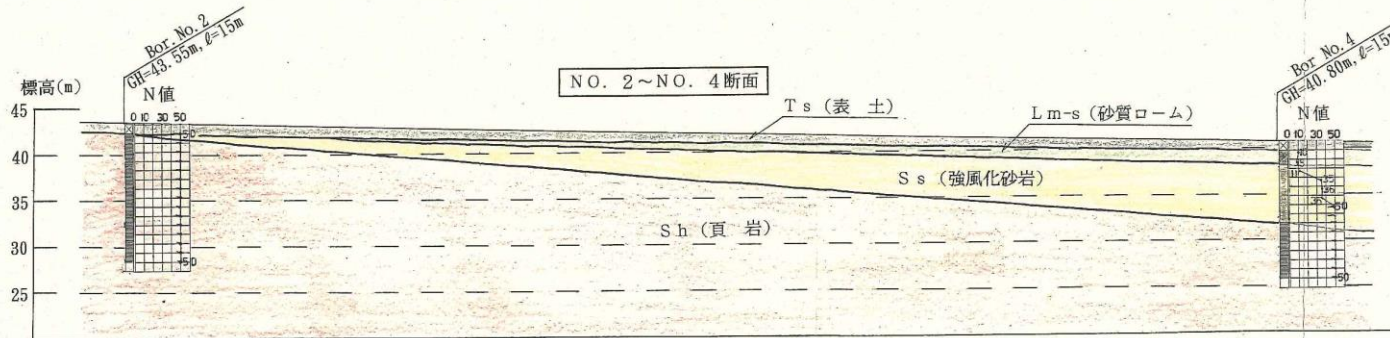
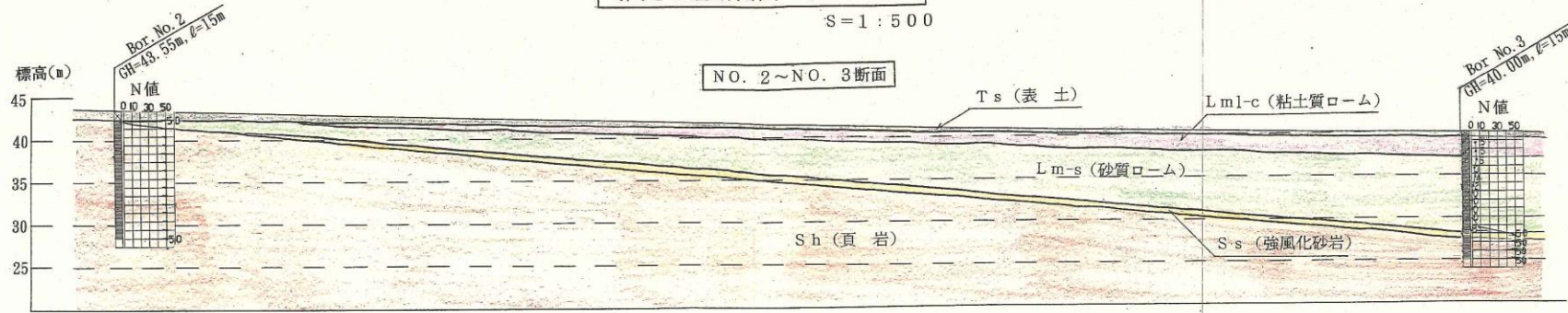


凡 例

層序	記号	土質名	N値	観 察 記 事
1層	Ts	表土	-	礫混じりの粘性土が主体で、草根・木の根等を含んでいる。全体的に軟らかい地層である。
2層	Lm1-c	粘土質ローム	3~7	粘性大で軟らかい地層である。礫分等の含有は、ほとんど認められない。砂分が10%程度混じる粘性土が主体の地層である。
3層	Lm-s	砂質ローム	0~8	砂分を30~40%程度含むローム層で、全体的に軟らかい地層である。下部層においては軽石質礫を含む。
4層	Lm2-c	粘土質ローム	9	固結状態の粘性土で若干の礫を含む。
5層	Ss	強風化砂岩	35~50	風化が進みコアは砂状をなしている。下部層に伴い固結度が、やや強まり岩の形状をなしている所もある。
6層	Sh	頁岩	50	上部層は、亀裂が多く角礫状であるが、下部層では棒状コアで採取され固結度の強い未風化の岩盤である。

図-7 推定地層断面図 (その2)

S=1:500



凡 例

層序	記号	土質名	N値	観 察 記 事
1層	Ts	表土	-	礫混じりの粘性土が主体で、草根・木の根等を含んでいる。全体的に軟らかい地層である。
2層	Lm1-c	粘土質ローム	3~7	粘性大で軟らかい地層である。礫分等の含有は、ほとんど認められない。砂分が10%程度混じる粘性土が主体の地層である。
3層	Lm-s	砂質ローム	0~8	砂分を30~40%程度含むローム層で、全体的に軟らかい地層である。下部層においては軽石質礫を含む。
4層	Lm2-c	粘土質ローム	9	固結状態の粘性土で若干の礫を含む。
5層	Ss	強風化砂岩	35~50	風化が進みコアは砂状をなしている。下部層に伴い固結度が、やや強まり岩の形状をなしている所もある。
6層	Sh	頁岩	50	上部層は、亀裂が多く角礫状であるが、下部層では棒状コアで採取され固結度の強い未風化の岩盤である。

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 1

事業・工事名 第 1 号

シートNo. 1

ボーリング名	N o . 1		調査位置	下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯		
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合			調査期間	平成 7 年 6 月 2 日～ 7 年 6 月 5 日		東経		
調査業者名	(有)宮崎地質コンサルタント 電話(0964-33-2645)		主任技師	宮崎光一		現場代理人	鶴山 進		
孔口標高	39.30m	角	180°上 90° 0°下		方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	15.00m	度			向			使用機種	東邦 D-1 B 型
								エンジン	ヤンマー NFD 9 型
								ハンマー落下用具	コーンブーリー法
								ポンプ	BG-3B 型

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取 方法	室内試験 掘進 月 日
									深 度 (m)	10cm 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					
38.60	0.70	0.70		粘土質ローム	暗灰	軟らかい	軟らかい	礫混じり粘性土	1.15	1	1	3	30				
35.70	2.90	3.60		粘土質ローム	赤褐 / 暗褐	軟らかい	軟らかい	粘性土主体の地層で礫分はほとんど含まない。上部層は粘性大で含水中位。下部層は粘性中位で含水大。	2.15	2	2	7	30				
30.60	5.10	8.70		砂質ローム	暗灰 / 灰白	軟らかい	軟らかい	粘性土主体で砂礫分が約30%混じる。礫径はφ5~10mm程度で風化礫が主である。全体的に含水大で軟らかい地層である。	3.15	1	1	3	30				
28.80	1.80	10.50		粘土質ローム	黄褐 / 赤褐	硬い	硬い	粘性大で固結粘土状である。φ5mm程度の小礫を約10%含む	4.15	2	1	5	30				
26.80	2.00	12.50		強風化砂岩	黄褐	密な	密な	コアは細砂状をなし指圧により崩れる程度。粘性分を若干含んでいる。深度11.50~12.00m間に砂岩質礫φmax100mm程度を介在する。	5.15	1	1	3	30				
24.30	2.50	15.00		頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	上部層は半風化状態で亀裂が多く、もろい状態であるが下部に伴い棒状コアとなり安定している。深度13.00~14.00m間のRQDは0%で、深度14.00~15.00m間のRQDは20~30%程度。	6.15	1	1	2	40				
									7.15	1	1	3	40				
									8.15	1	1	3	40				
									9.15	3	3	9	30				
									10.15	2	2	5	9				
									11.15	13	14	15	42				
									12.15	11	15	20	46				
									13.00	50	9	50	9				
									14.00	50	2	50	2				
									15.00	貫入不能		50	0				

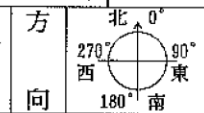
ボーリング柱状図
















調査名 宇城八か町村清掃施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 2

事業・工事名 第 1 号

シートNo. 2

ボーリング名	No. 2	調査位置	下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 7年 6月 2日～ 7年 6月 6日		東経	
調査業者名	(有)宮崎地質コンサルタント 電話(0964-33-2645)	主任技師	宮崎光一		現場代理人	鶴山 進 コ 鑑 定 者 宮崎光一	
ボーリング責任者			東邦D-1B型		ハンマー落下用具	コーンアーリー法	
孔口標高	43.55m	角			使用機種	エンジン ヤンマーNPD9型	
総掘進長	15.00m	度	鉛直 90°		ポンプ	BG-3B型	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進月日)
											深 度 (m)	10cm ごと の 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	試験名 および結果	深 度 (m)	試料採取方法	
1	42.55	1.00	1.00		表土	暗褐	中ぐ	深さ0.00~0.30m間は粘性土主体、深さ0.30~1.00m間は礫質土主体。		50 / 1	50 / 1						6/2	
2								上部層 (深さ1.00~6.00m) は砂質頁岩状をなし、部分的に砂岩優勢の所も認められる。深さ1.00~5.00m間のRQD30~50%程度。		貫入不能	50 / 0						6/3	
3										貫入不能	50 / 0							
4										貫入不能	50 / 0							
5										貫入不能	50 / 0							
6										貫入不能	50 / 0							
7										貫入不能	50 / 0							
8										貫入不能	50 / 0							
9										貫入不能	50 / 0							
10								深さ9.00m付近より泥質頁岩状となり、上部層に比較して岩粒子が細かくなっている。RQD40~50%程度で風化の少ない安定した岩盤である。		貫入不能	50 / 0							
11										貫入不能	50 / 0							
12										貫入不能	50 / 0							
13										貫入不能	50 / 0							
14										貫入不能	50 / 0							
15	28.55	14.00	15.00							貫入不能	50 / 0						6/6	

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 3

事業・工事名 第 1 号

シートNo. 3

ボーリング名	N o . 3		調査位置	下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯									
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合			調査期間	平成 7 年 5 月 2 9 日 ~ 7 年 5 月 3 1 日			東経								
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)		主任技師	宮崎 光一		現場代理人	鶴山 進		コア鑑定者	宮崎 光一		ボーリング責任者	鶴山 進			
孔口標高	40.00m	角	180° 上		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	東邦 D-1B 型		ハンマー落下用具	コーンブーリー法	
総掘進長	15.00m	度	下 0°		向			エンジン	ヤンマー NFD 9 型		ポンプ	B'G-3B 型				

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	試料採取 番号	採取方法	室内試験 掘進月日	
									深 度 (m)	10cm ごと の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
39.60	0.40	0.40		表土	黒褐			表層部 0.40m までは黒ボク状の粘性土。	1.15	1	2	2	5	30					
				粘土質ローム	茶褐			粘性土主体の地層。粘性大で含水大である。	1.45	2	1	2	5	30					
37.20	2.40	2.80		砂質ローム	暗赤く乳灰			粘性土が主体で全体的に細砂分を 30~40% 程度含んでいる。粘性小で含水は上部層 (深度 0.00~6.00m) は中位で、下部層 (深度 6.00~10.00m) は含水大で軟弱な地層である。 深度 5.50~7.00m 間に φ5mm 程度の亜角礫を 10~20% 含んでいる。	2.15	2	1	2	5	30					
								軟らかい / 非常に軟らかい	2.45	2	2	2	6	30					
									3.15	2	2	2	6	30					
									3.45	1	1	1	3	30					
									4.15	1	1	1	3	30					
									4.45	1	1	2	4	30					
									5.15	1	1	2	4	30					
									5.45										
									6.15	1	1	1	2	38					
									6.53	1	1	1	2	38					
									7.00										
									7.28										
									8.00										
									8.40										
									9.00										
									9.50										
									10.00										
									10.40										
									10.50										
									11.15	2	2	4	8	30					
28.30	8.60	11.70		強風化砂岩	黄褐			半固結状の砂岩で非常に密な地層である。	11.45	19	31	8	50	18					
27.70	0.60	12.30							12.15										
									12.33										
									13.00										
									13.00										
									14.00										
									14.00										
									15.00										
									15.00										

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 4

事業・工事名 第 1 号

シートNo. 4

ボーリング名	N o . 4		調査位置	下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯						
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合			調査期間	平成 7 年 5 月 2 9 日 ~ 7 年 5 月 3 1 日			東経					
調査業者名	(有)宮崎地質コンサルタント 電話(0964-33-2645)		主任技師	宮崎光一		現場代理人	鶴山 進		コア鑑定者	宮崎光一			
孔口標高	40.80m	角			地盤勾配	水平 0°		使用機種	東邦 D-1 B 型		ハンマー落下用具	コーンアーリー法	
総掘進長	15.00m	度			90°	エンジン	ヤンマー NFD 9 型		ポンプ	BG-3B 型			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
											深 度 (m)	10cm ごと の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
1	39.80	1.00	1.00		表土	黄褐	軟らかい	中位	礫混じりロームで礫分を10~20%程度含む。		1.15	3	3	4	10/30				
2	38.20	1.60	2.60		礫混じり砂質ローム	暗褐	中位	中位	礫分φ5~30mm程度を約30%含む。礫は軽石質礫で風化が進んでいる。		1.45	2	3	3	8/30				
3					強風化砂岩	黄褐	中ぐらい	密な	上部層(深度2.60~4.00m)は特に風化が進んでおり、指圧により砂状となる。若干の粘土分を含んでいる。深度4.00m以下は固結度がやや強まり下部に伴い安定してくる。		2.45	3	4	4	11/30				
4					強風化砂岩	黄褐	中ぐらい	密な	上部層(深度2.60~4.00m)は特に風化が進んでおり、指圧により砂状となる。若干の粘土分を含んでいる。深度4.00m以下は固結度がやや強まり下部に伴い安定してくる。		3.45	6	11	18	35/30				
5					強風化砂岩	黄褐	中ぐらい	密な	上部層(深度2.60~4.00m)は特に風化が進んでおり、指圧により砂状となる。若干の粘土分を含んでいる。深度4.00m以下は固結度がやや強まり下部に伴い安定してくる。		4.45	11	12	13	36/30				
6					強風化砂岩	黄褐	中ぐらい	密な	上部層(深度2.60~4.00m)は特に風化が進んでおり、指圧により砂状となる。若干の粘土分を含んでいる。深度4.00m以下は固結度がやや強まり下部に伴い安定してくる。		5.15	11	12	13	36/30				
7					強風化砂岩	黄褐	中ぐらい	密な	上部層(深度2.60~4.00m)は特に風化が進んでおり、指圧により砂状となる。若干の粘土分を含んでいる。深度4.00m以下は固結度がやや強まり下部に伴い安定してくる。		5.45	6	12	18	36/30				
8					強風化砂岩	黄褐	中ぐらい	密な	上部層(深度2.60~4.00m)は特に風化が進んでおり、指圧により砂状となる。若干の粘土分を含んでいる。深度4.00m以下は固結度がやや強まり下部に伴い安定してくる。		6.15	6	12	18	36/30				
9	31.90	6.30	8.90		頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		7.45	12	21	17	50/26				
10					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		7.71	33	17	3	50/13				
11					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		8.15	50	1	1	50/1				
12					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		8.28	50	1	1	50/1				
13					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		9.00	50	1	1	50/1				
14					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		9.01	50	1	1	50/1				
15	25.80	6.10	15.00		頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		10.00	貫入不能		50/0					
					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		11.00	貫入不能		50/0					
					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		12.00	貫入不能		50/0					
					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		13.00	貫入不能		50/0					
					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		14.00	貫入不能		50/0					
					頁岩	暗赤	非常に密な	非常に密な	全体的に亀裂は多いが固結度の強い岩盤である。上部は砂岩との互層をなすが下部は頁岩質である。深度8.90~11.00m間のRQDは10~20%程度。深度11.00~15.00m間のRQDは30~40%程度で最大棒状コア20cmである。		15.00	貫入不能		50/0					

宇城八か町村清掃施設組合殿

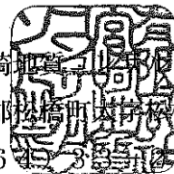
ごみ処理施設建設工事
リサイクルプラザ建設工事

地質調査報告書

上記調査につきまして、ここにご報告
申し上げます。

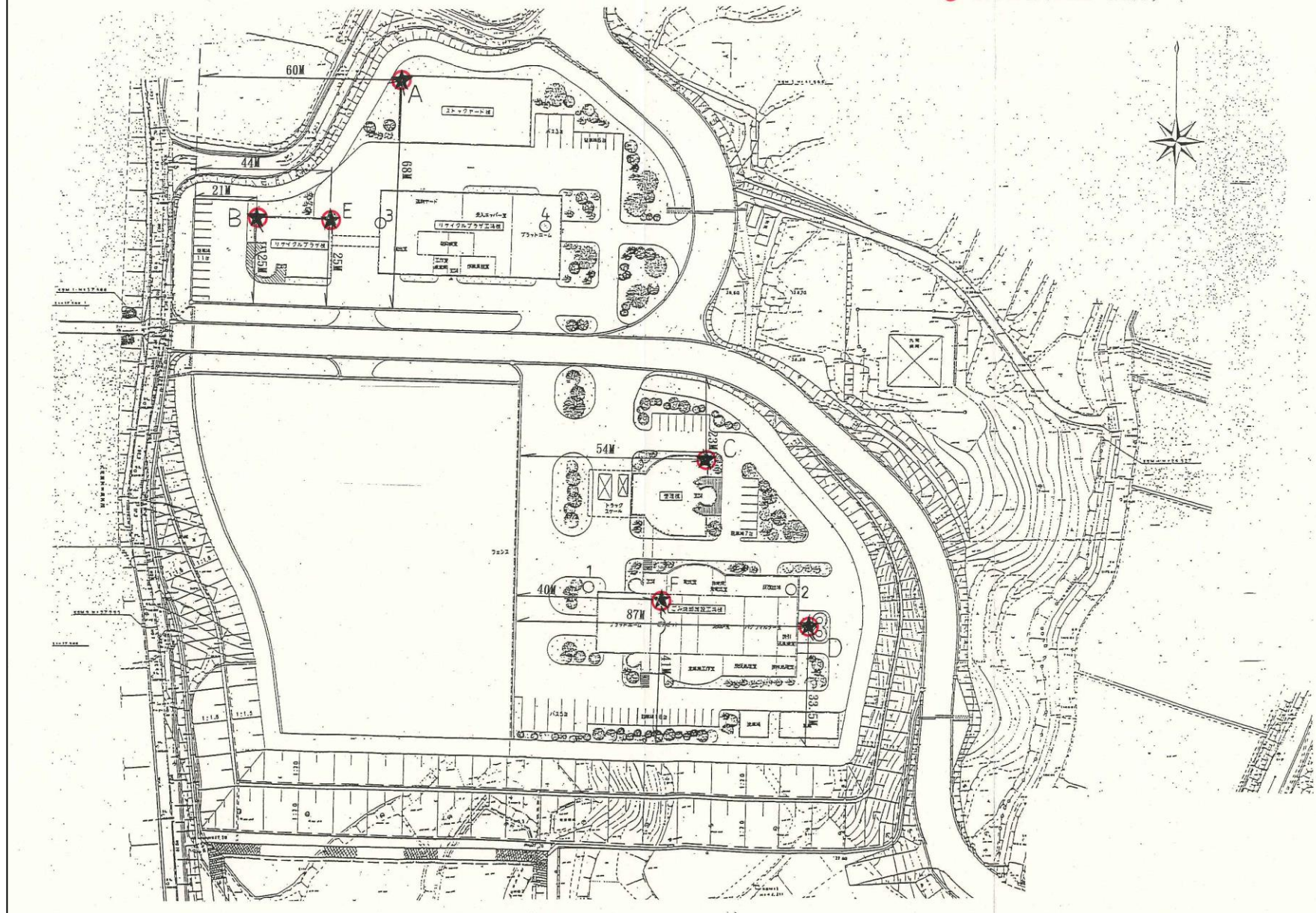
平成 8年 9月

有限会社 宮崎地質コンサルタント
熊本県下益城郡松橋町大字松橋605-4
TEL (0964) 33-0645
FAX (0964) 33-0584

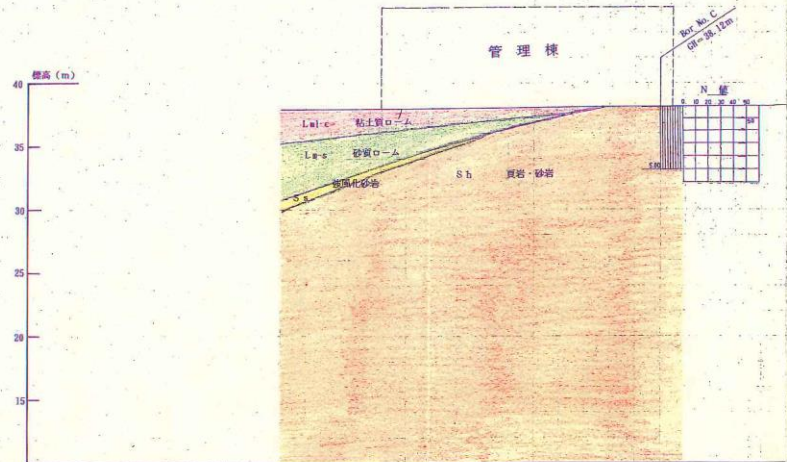


調査位置平面図

★ 調査位置 (NO. A~NO. F)



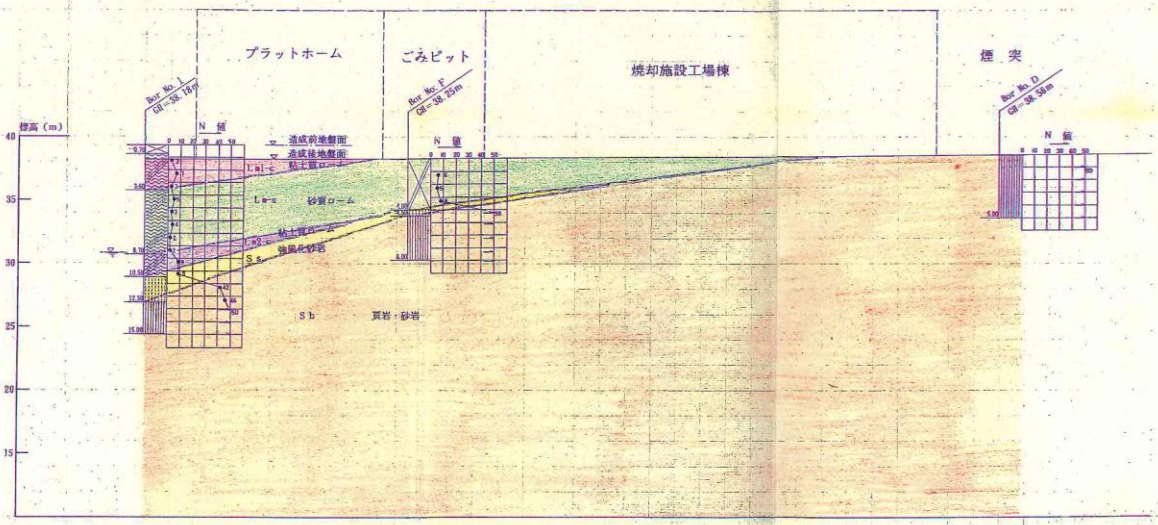
推定地層断面図 S=1:200



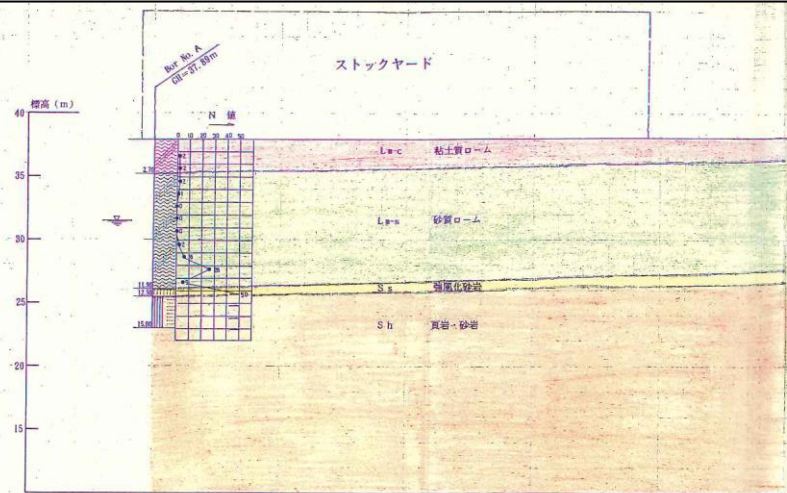
凡 例

層序	記号	土質名	N値の範囲	組 察 記 事
1層	Lm-c	粘土質ローム	2~7	造成地表土で粘性土を主体とし、乱されている。全体的に粘性大で軟らかい地層である。
2層	Lg-s	砂質ローム	0~9	砂分を含む粘性土で、凝灰質シルト状を呈する。含水大で非常に軟らかくコアは流動化されている。所々に風化された軽石質礫が点在する。
3層	Ls2-c	粘土質ローム	9	凝結状態の粘性土で若干の礫を含む。
4層	Ss	強風化砂岩	11~50	風化によりコアは崩散されており、粘土崩れり砂状を呈している。下部に伴い固結度が著まり岩相が認められる。
5層	Sh	頁岩・砂岩	50以上	上部は亀裂が多く角礫状であるが、下部に伴い岩質は硬くなり、棒状コアで採取され風化の少ない安定した岩盤となる。

N 値 ←
地下水位 →



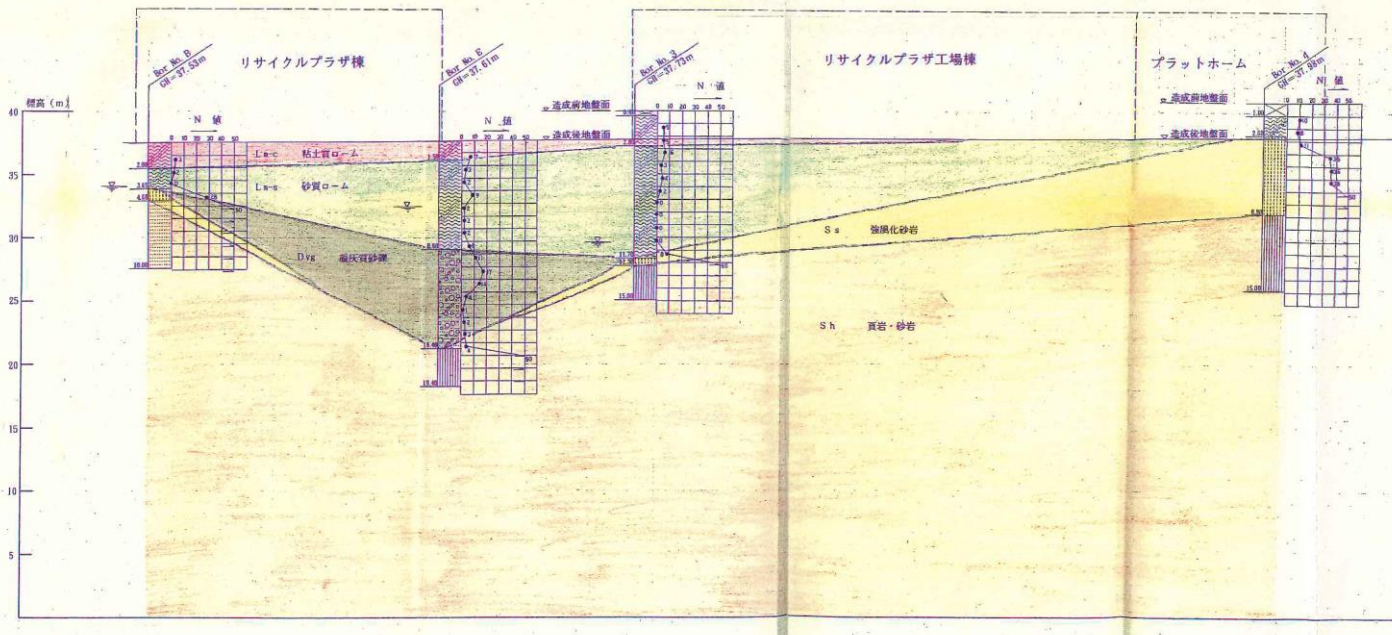
推定地層断面図 S=1:200



凡例

層序	記号	土質名	N値の範囲	観察記号
1層	Lw-c	粘土質ローム	2~7	造成地裏土で粘性土を主体とし、乱されている。全体的に粘性土で軟らかい地層である。
2層	Lw-s	砂質ローム	0~9	砂分を含む粘性土で、凝灰質シルト状を呈する。含水大で非常に軟らかくコアは流動化されている。所々に風化した軽石質礫が点在する。
3層	Dys	凝灰質砂礫	1~17	軽石礫、軽石砂主体の凝灰質砂礫で、Bor. No. E地点のみに確認される。下部に伴い硬い状態になる。
4層	Ss	強風化砂岩	11~50	風化によりコアは細粒化されており、粘土混じり砂状を呈している。下部に伴い固結度が強まり岩相が認められる。
5層	Sh	頁岩・砂岩	50以上	上部は亀裂が多く角礫状であるが、下部に伴い岩質は硬くなり、棒状コアで採取され風化の少ない安定した岩盤となる。

N 値 ←
地下水位 →



ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設組合ごみ処理施設リサイクルプラザ建設工事地質調査

ボーリングNo. A

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	N O . A	調査位置	熊本県下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 8年 9月12日～ 8年 9月14日		東経	
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話(0984-33-2645)	主任技師	吉川民雄	現代理人	宮崎光一	コア鑑定者	宮崎光一
ボーリング責任者					吉川民雄		
孔口標高	37.89m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	15.00m	度		向		使用機種	試験機
						エンジン	東邦 D-1B型
						ハンマー落下用具	コーンブーリー法
						ポンプ	B G - 3 B 型

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日
									深	10cm 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
1			粘土質ローム	暗褐色 / 暗黄		軟らかい	表層部0.40m間は黒ボク状を呈し乱されている。全体的に粘性土を主体に砂分・礫分の混入は少ない。		1.15	1/17	1/13	2/30					
2	35.18	2.70							1.45	1/19	1/13	2/32					
3									2.47	1/18	1/12	2/30					
4									3.15	1/18	1/12	2/30					
5									3.45								
6									4.15	1/32		1/32					
7									4.47								
8									5.15	モンケン自洗		0/30					
9									5.45	モンケン自洗		0/30					
10									6.00	モンケン自洗		0/50					
11									6.50	モンケン自洗		0/50					
12									7.00	モンケン自洗		0/50					
13	25.99	9.20							7.50								
14	25.39	0.60							8.15	1/18	1/15	2/34					
15									8.49								
									9.15	2	2	2	6/30				
									9.35								
									10.15	9	8	9	26/30				
									10.45								
									11.15	1	2	2	5/30				
									11.45								
									12.15	12	22	16/5	50/25				
									12.40	50			50/6				
									13.15	50			50/6				
									13.21								
									14.15	50			50/1				
									14.18								
									15.00	50			50/5				
									15.05								

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設組合ごみ処理施設リサイクルプラザ建設工事地質調査

ボーリングNo. B

事業・工事名

シートNo. 2

ボーリング名	NO. B	調査位置	熊本県下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 8年 9月17日～ 8年 9月18日		東経	
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話(0964-33-2645)	主任技師	吉川民雄	現場代理人	宮崎光一	コア鑑定者	宮崎光一
ボーリング責任者					ボーリング責任者		吉川民雄
孔口標高	37.53m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	10.00m	度		向		使用機種	東邦 D-1B 型 ハンマー落下用具 エンジン ヤンマー-NFD9 ポンプ
							コーンブーリー法 BG-3B 型

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
										深 (m)	10cm 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値				
1				粘土質ローム	暗褐色		軟らかい	造成地表土で地層は乱されている。黒ボク状を呈する粘性土を主体とする。	9/17 3.40	1.15	1	1	3/32				
2	35.53	2.00		砂質ローム	赤褐色と乳灰		非常に軟らかい	砂分を30%程度含む粘性土で深度2.00~2.50m間は赤褐色の粘性土状を呈し、深度2.50~3.65m間は乳白色の粘土状を呈している。含水大で極めて軟らかい地層である。深度3.00m付近は流動化している。		1.47	1	1	2/30				
3	33.88	1.65		強風化砂岩	黄褐色		中位	半固結状の砂岩でコアは風化により粘土化されている。		2.45	15	15	0/50				
4	32.93	0.95		砂岩	暗黄褐色		非常に密な	上部1m間は若干風化され部分的に粘土化している。下部は角礫状より短棒状コアとなり全体的に亀裂が多くRQDO%程度である。下部に従い岩質は硬くなり安定してくる。		3.00	モンケン自沈	0	50				
5										3.50	7	10	11	28/30			
6										4.15	14	18	18	50/28			
7										4.45	17	21	12	50/25			
8										5.15	50			50/10			
9										5.43	50			50/10			
10	27.53	5.40	10.00							6.15	30	20		50/20			
										6.40	38	12	5	50/15			
										7.15	50			50/10			
										7.25	50			50/10			
										8.15	30	20		50/20			
										8.35	50			50/10			
										9.15	38	12	5	50/15			
										9.30	50			50/10			
										10.15	50			50/10			
										10.23	50			50/10			

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設組合ごみ処理施設リサイクルプラザ建設工事地質調査

ボーリングNo. C

事業・工事名

シートNo. 3

ボーリング名	N O . C	調査位置	熊本県下益城郡松橋町大字萩尾地内				北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 8年 9月19日～ 6年 9月20日		東経		
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話(0964-33-2645)	主任技師	吉川 民雄	現場代理人	宮崎 光一	コ 鑑 定 者	宮崎 光一	
ボーリング責任者					吉川 民雄			
孔口標高	38.12m	角			地盤勾配	水平 0°	使用機種	
総掘進長	5.00m	度			試錐機	東邦 D-1B 型	ハンマー落下用具	
				エンジン	ヤンマー NFD9	ポンプ	コーンブーリー法	
						BG-3B 型		

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
									深 度 (m)	10cm ごと の 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
1							深度0.60mまでは造成に伴う表土部分で角礫状土砂よりなる。深度0.60～1.00m間は角礫状コアで採取される。深度1.00～2.00m間は棒状コアで採取されRQD 20%、φmax100mm程度。深度2.00～5.00m間は亀裂多くRQD 0%で短棒状コアで採取される。岩質は表土部分を除き全体的に硬質で風化は認められない。	1.00	50/5	50/5									
2						1.05		50/3	50/3										
3						2.00		50/4	50/4										
4						3.04		50/5	50/5										
5	33.12	5.00	5.00			5.00		50/4	50/4										

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設組合ごみ処理施設リサイクルプラザ建設工事地質調査

ボーリングNo. D

事業・工事名

シートNo. 4

ボーリング名	N O . D	調査位置	熊本県下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 8 年 9 月 2 1 日 ~ 8 年 9 月 2 4 日		東経	
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)	主任技師	吉川 民雄	現場代理人	宮崎 光一	コア鑑定者	宮崎 光一
ボーリング責任者			試錐機	東邦 D-1B 型		ハンマー落下用具	
孔口標高	38.56m	角		使用機種	エンジン		コーンパーリー法
総掘進長	5.00m	度		90°	ヤンマー NFD9		ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
								深 度 (m)	10cm ごと の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1				暗褐	非常に密な		深度0.60mまでは造成に伴う表土部分で角礫状土砂よりなる。深度0.60~1.00m間は角礫状コアで採取される。深度1.00~5.00m間は棒状コアで採取されRQD 10~20%の硬質の岩盤層であり風化はほとんど認められない。	1.00	50/3	50/3							
2			頁岩	暗灰				1.03	50/3	50/3							
3				暗赤灰				2.00	50/3	50/3							
4								2.03	50/2	50/2							
5	33.56	5.00	5.00					3.00	50/3	50/3							
							3.02	50/2	50/2								
							4.00	50/2	50/2								
							4.03	50/2	50/2								
							5.00	50/2	50/2								
							5.02										

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設組合ごみ処理施設リサイクルプラザ建設工事地質調査

ボーリングNo. E

事業・工事名

シートNo. 5

ボーリング名	N O E	調査位置	熊本県下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 8年 9月25日～ 8年 9月27日		東経	
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)	主任技師	吉川 民雄	現場代理人	宮崎 光一	コア鑑定者	宮崎 光一
ボーリング責任者					吉川 民雄		
孔口標高	37.61m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	19.40m	度	0°	向		使用機種	東邦 D-1 B 型
						ハンマー落下用具	コーンパーリー法
						エンジン	ヤンマー NFD 9
						ポンプ	BG-3B 型

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	層度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日
										深 (m)	10cm ごと	打撃回数	N 値					
1	36.11	1.50	1.50		粘土質ローム	暗褐	中位	粘性を主体とし粘性中ぐらいでやや軟らかい。		1.15	2	2	3	7	30			
2					砂質ローム	黄褐 / 茶褐 / 褐灰	軟らかい	上部の深度1.50～4.60m間は風化軽石のホラ層でシルト状を呈し部分的に固結状の軽石がみられる。弱粘性、高含水で全体的に軟らかい。 深度4.60～8.60m間は凝灰質のシルト状を呈し多量の砂分が混じる。弱粘性、高含水で全体的に軟らかい。		1.45	1	1	1	3	30			
3										2.15	1	1	1	3	30			
4										2.45								
5										3.15	1	1	1	2	35			
6										3.50	1	1	1	2	35			
7										4.15	3	3	3	9	30			
8										4.45								
9										4.45	1	1	1	2	35			
10										5.15	1	1	1	2	35			
11										5.50	0	2	2	2	35			
12										6.15	0	2	2	2	35			
13										6.50	0	2	2	2	30			
14										7.15	0	2	2	2	30			
15										7.45	0	3	4	7	35			
16										8.15	0	3	4	7	35			
17										8.50	3	4	4	11	30			
18										9.15	3	4	4	11	30			
19										9.45	4	6	7	17	30			
20										10.15	4	6	7	17	30			
21										10.45	4	4	6	14	30			
22										11.15	4	4	6	14	30			
23										11.45	1	2	1	4	30			
24										12.15	1	2	1	4	30			
25										12.45								
26										13.15	1	1	1	1	50			
27										13.65	1	1	1	1	50			
28										14.15	1	1	1	3	30			
29										14.55	1	1	1	3	30			
30										15.15	1	1	1	3	30			
31										15.45	1	1	2	4	30			
32										16.15	1	1	2	4	30			
33										16.45	50			50	3			
34										17.15	50			50	3			
35										17.18								
36										18.00	50			50	10			
37										18.10								
38										19.00	50			50	1			
39										19.01	50			50	1			

ボーリング柱状図

調査名 宇城八か町村清掃施設組合ごみ処理施設リサイクルプラザ建設工事地質調査

ボーリングNo. F

事業・工事名

シートNo. 6

ボーリング名	N O . F	調査位置	熊本県下益城郡松橋町大字萩尾地内			北緯	
発注機関	宇城八か町村清掃施設組合		調査期間	平成 8年 9月28日～ 8年 9月30日		東経	
調査業者名	(有) 宮崎地質コンサルタント 電話(0964-33-2645)	主任技師	吉川 民雄	現場代理人	宮崎 光一	コア鑑定者	宮崎 光一
ボーリング責任者					ボーリング責任者		吉川 民雄
孔口標高	38.25m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	8.00m	度	0°	向		使用機種	試錐機 東邦 D-1B型 エンジン ヤンマー NFD9
						ハンマー落下用具	コーンパーリー法 ポンプ BG-3B型

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取 番号	室内試験 採 取 方 法	掘 進 月 日
										深 度 (m)	10cm ごと の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1				埋土	暗赤 / 暗灰		中位	造成工事に伴い混ざっており礫混じり粘性土状を呈する。深度3.00～4.00m間に草木根等の有機物を多量に含んでいる。		1.15	2	2	2	5	30				
2										1.45									
3										2.15	2	1	2	5	30				
4	34.25	4.00	4.00	強風化砂岩	黄褐色	密	中	全体的に軟弱状を呈し岩質は脆い状態である。		2.45									
5	33.75	0.50	4.50							3.15	3	2	3	8	30				
6				頁岩	暗赤		非常に密	暗赤色の頁岩で亀裂多く礫状コアで採取されRQD0%。岩質は硬い。		3.45									
7										4.15	20	25	5	50	22				
8	30.25	3.50	8.00							4.37	50			50					
										5.15	4			50	4				
										5.19									
										6.15	25	19	6	50	23				
										6.38									
										7.15	13	16	21	50	29				
										7.44	50			50					
										8.00	7			50	7				
										8.07									

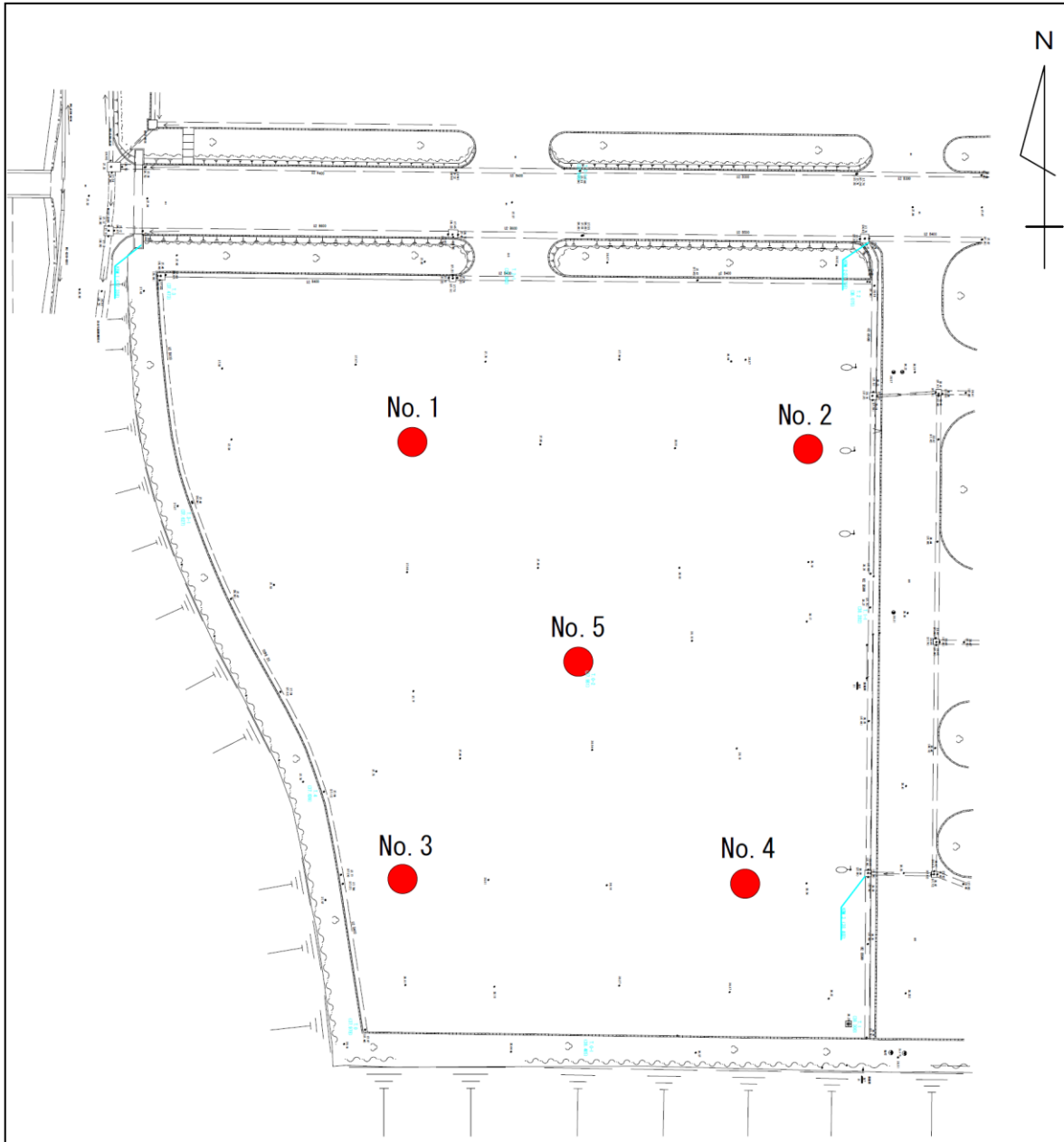
環クエ委 第2号

エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

報 告 書

平成30年3月

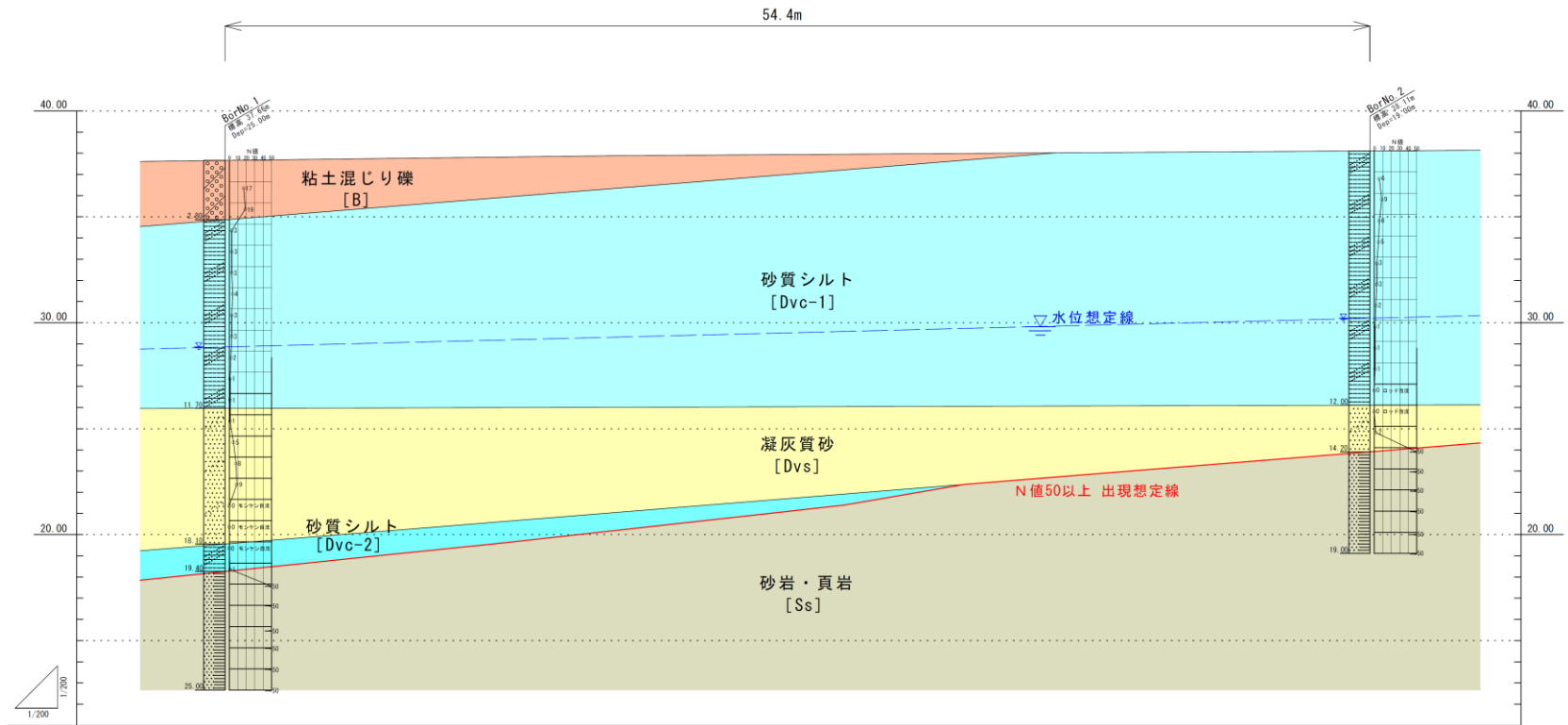
宇城広域連合 環境衛生課
有限会社 宮崎地質コンサルタント



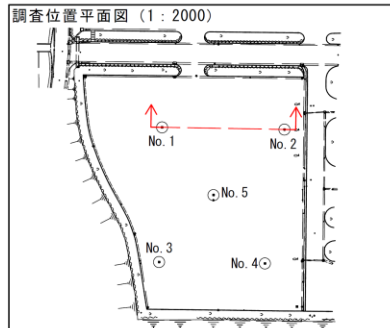
調査位置平面図

推定地質断面図

[No. 1-No. 2断面] S = 1 : 200



1/200



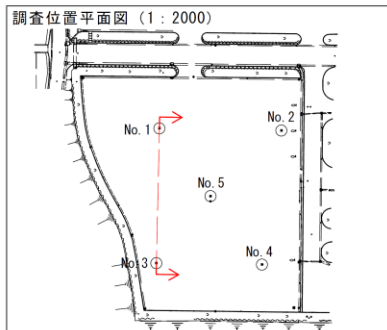
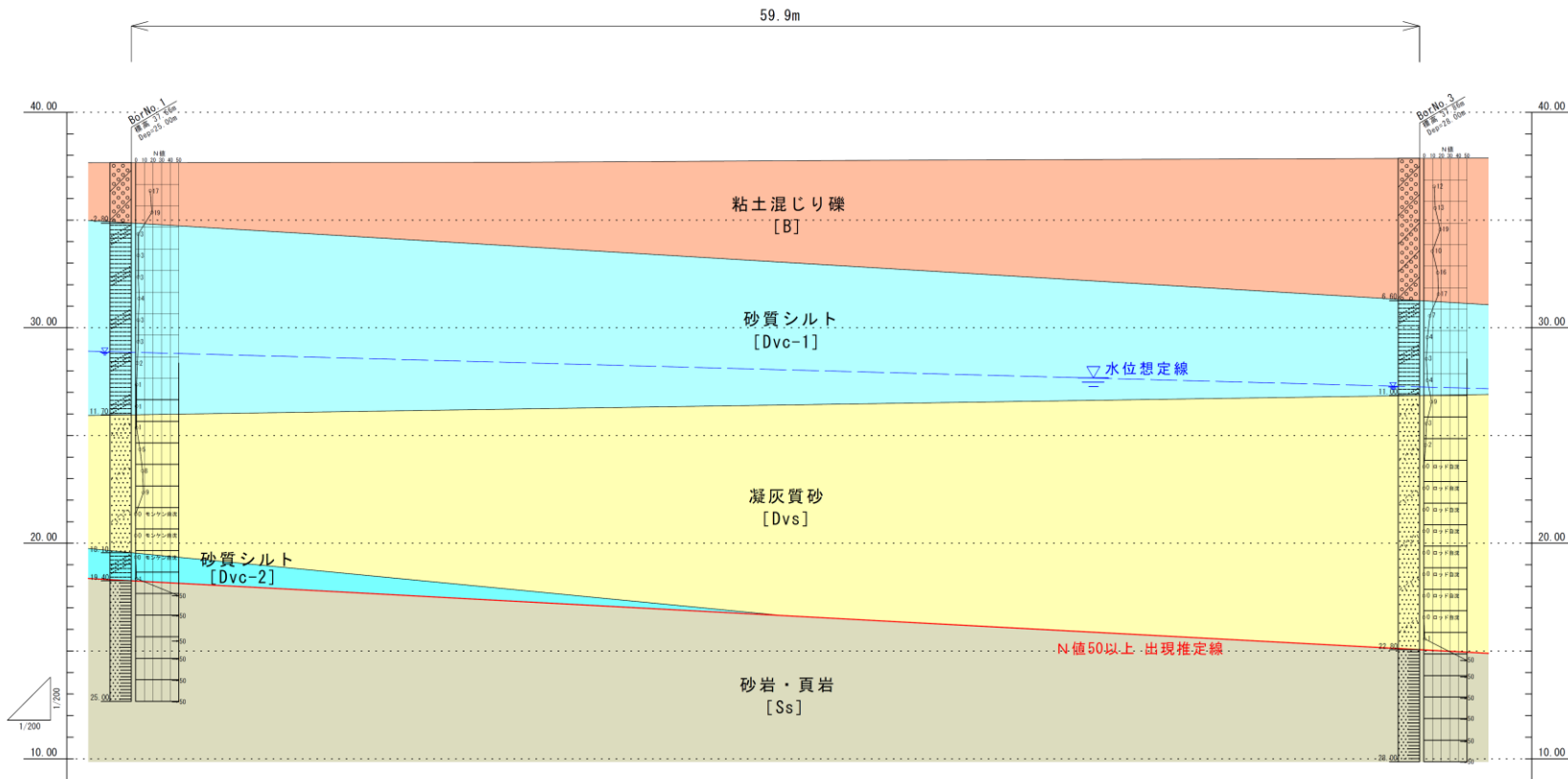
凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴	
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	2.80	17~19 (18.0)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。	
阿蘇火砕流堆積物	灰土 (1)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-1	8.90~12.00	0~9 (3.0)	「軟らかい」粘性土地盤。
	非溶結火砕流	凝灰質砂 (砂質土)	Dvs	2.20~6.40	0~9 (3.0)	「非常に緩い」砂質土地盤。
	灰土 (2)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-2	1.30	0~1 (0.5)	「非常に軟らかい」粘性土地盤。
	基盤岩	砂岩・頁岩 (軟岩)	Ss	4.80~5.60	(50以上)	「非常に密な」岩盤。

件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松橋町萩尾1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 1-No. 2]		
図面番号	1/7	縮尺	1:200
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

推定地質断面図

[No. 1-No. 3断面] S = 1 : 200



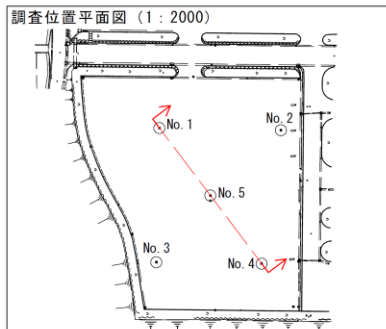
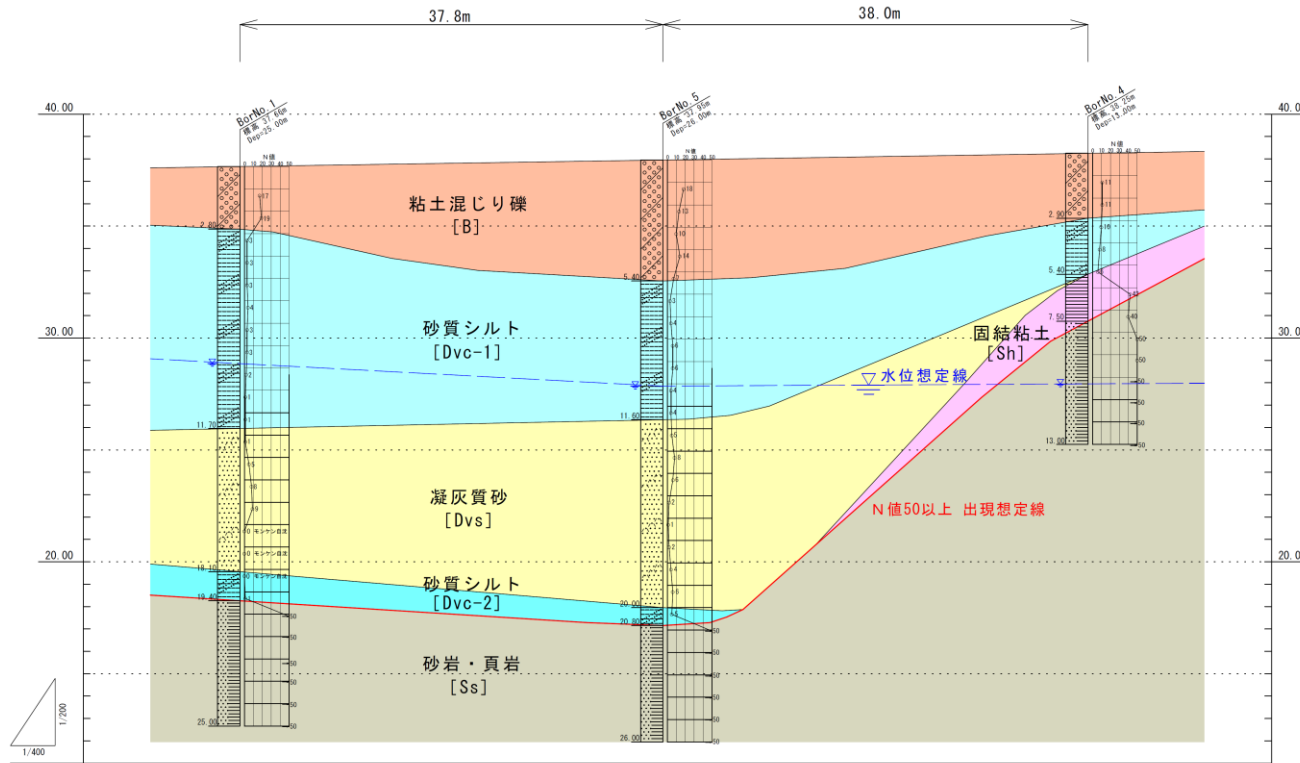
凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	2.80~6.60	10~19 (15.4)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。
阿蘇4火砕流堆積物	灰土(1)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-1	4.40~8.90 (3.2)	「軟らかい」粘性土地盤。
	非溶結火砕流	凝灰質砂 (砂質土)	Dvs	6.40~11.80 (2.1)	「非常に緩い」砂質土地盤。
	灰土(2)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-2	1.30 (0.5)	「非常に軟らかい」粘性土地盤。
御船層群	基盤岩	砂岩・頁岩 (軟岩)	Ss	5.20~5.60 (50以上)	「非常に密な」岩盤。

件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松橋町萩尾1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 1-No. 3]		
図面番号	4/7	縮尺	1:200
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

推定地質断面図

[No. 1-No. 5-No. 4断面] 縦 S = 1 : 200
横 S = 1 : 400



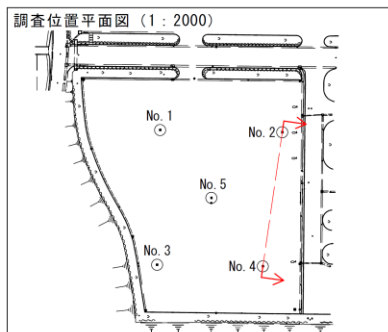
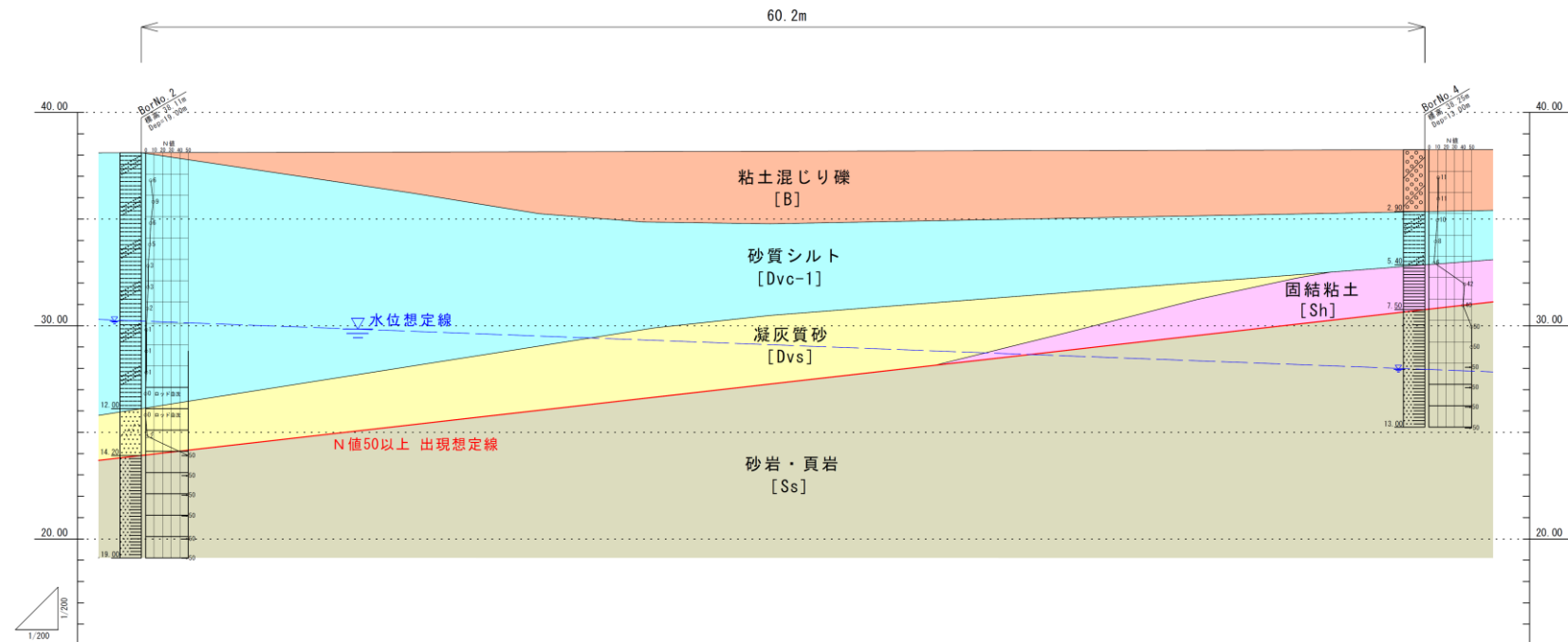
凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴	
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	2.80~5.40	7~19 (13.3)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。	
阿蘇4火砕流堆積物	灰土(1)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-1	2.50~8.90	1~10 (4.1)	「中位」の硬さの粘性土地盤。
	非溶結火砕流	凝灰質砂 (砂質土)	Dvs	6.40~8.40	0~9 (4.1)	「緩い」砂質土地盤。
	灰土(2)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-2	0.80~1.30	0~5 (2.0)	「非常に軟らかい」粘性土地盤。
御船層群	風化頁岩	固結粘土 (粘性土)	Sh	2.10	40~42 (41.0)	「非常に硬い」粘性土地盤。
	基盤岩	砂岩・頁岩 (軟岩)	Ss	5.20~5.60	(50以上)	「非常に密な」岩盤。

件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松橋町飯塚1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 1-No. 5-No. 4]		
図面番号	6/7	縮尺	縦 1:200 横 1:400
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

推定地質断面図

[No. 2-No. 4断面] S = 1 : 200



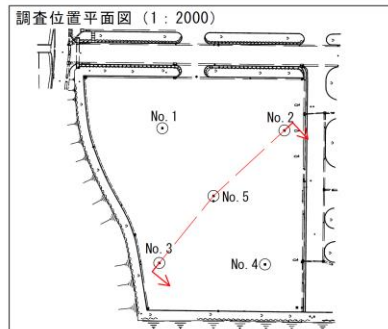
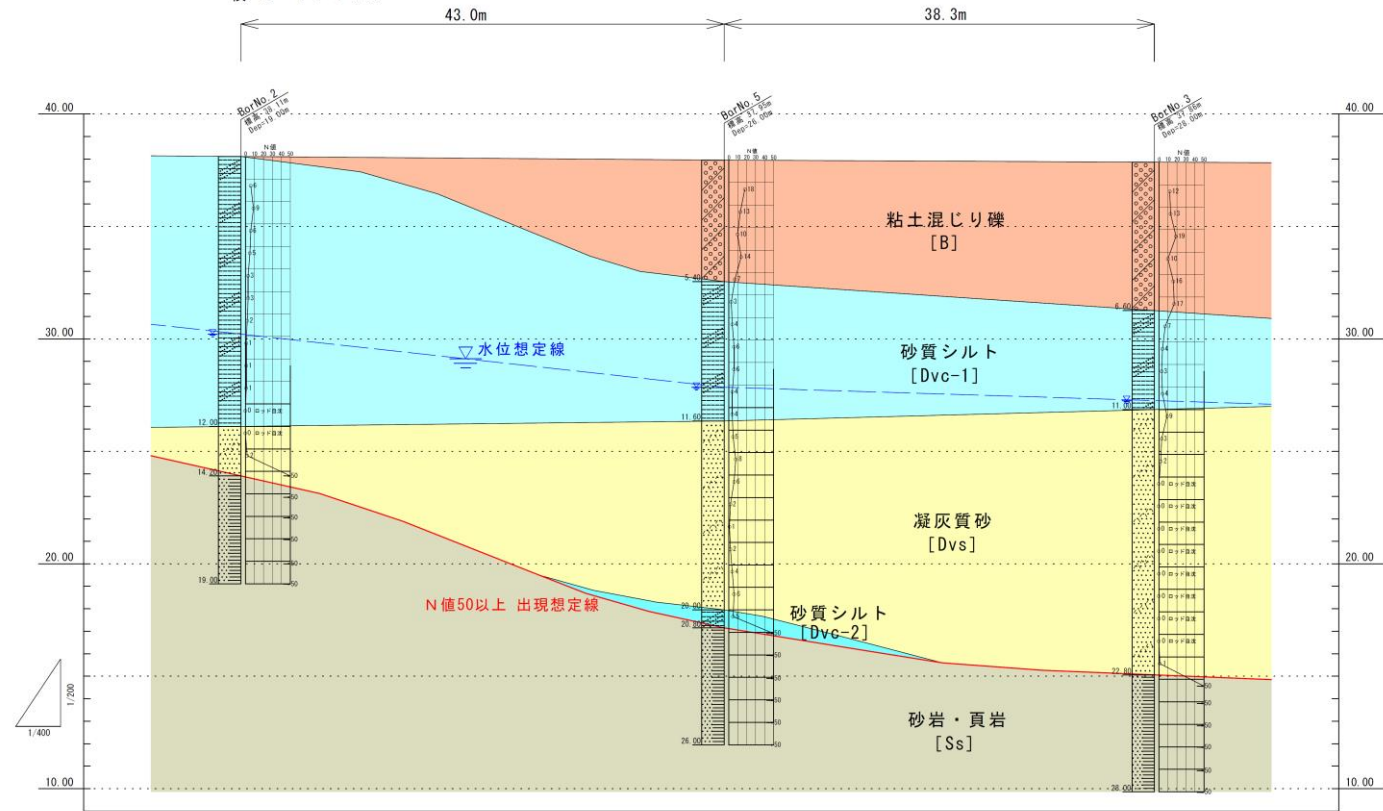
凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	2.90	11 (11.0)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。
堆積物 阿蘇山火砕流	灰土(1)	Dvc-1	2.50~12.00	0~10 (4.4)	「中位」の硬さの粘性土地盤。
	非溶結火砕流	Dvs	2.20	0~2 (1.0)	「非常に緩い」砂質土地盤。
御船層群	風化頁岩	Sh	2.10	40~42 (41.0)	「非常に硬い」粘性土地盤。
	基盤岩	Ss	4.80~5.50	(50以上)	「非常に密な」岩盤。

件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松橋町新尾1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 2-No. 4]		
図面番号	5/7	縮尺	1 : 200
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

推定地質断面図

[No. 2-No. 5-No. 3断面] 縦 S = 1 : 200
横 S = 1 : 400



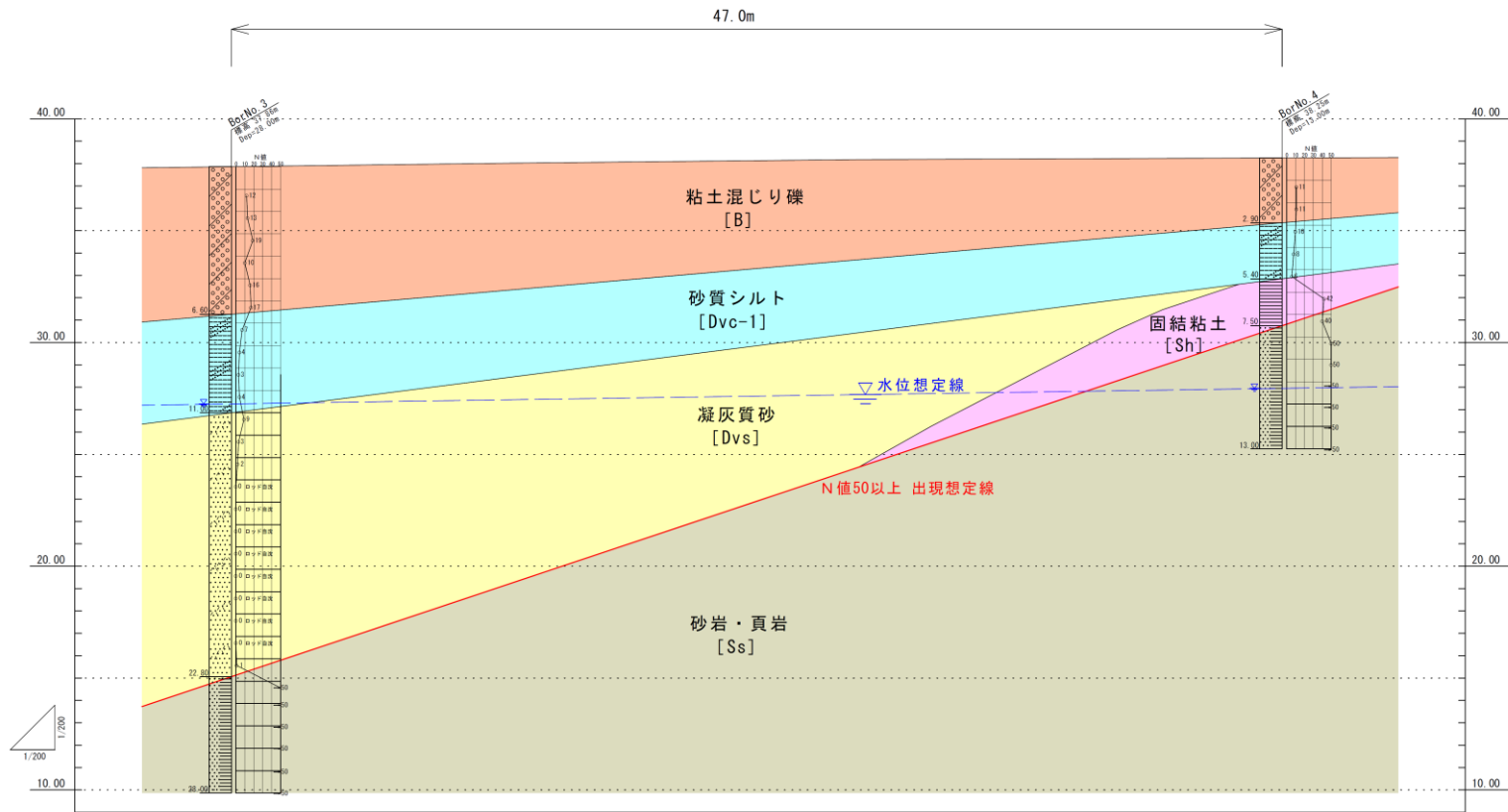
凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴	
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	5.40~6.60	7~19 (13.5)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。	
阿蘇4火砕流堆積物	灰土(1)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-1	4.40~12.00	0~9 (3.9)	「軟らかい」粘性土地盤。
	非溶結火砕流	凝灰質砂 (砂質土)	Dvs	2.20~11.80	0~9 (2.3)	「非常に緩い」砂質土地盤。
	灰土(2)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-2	0.80	5 (5.0)	「中位」の硬さの粘性土地盤。
基盤岩	砂岩・頁岩 (軟岩)	Ss	4.80~5.20	(50以上)	「非常に密な」岩盤。	

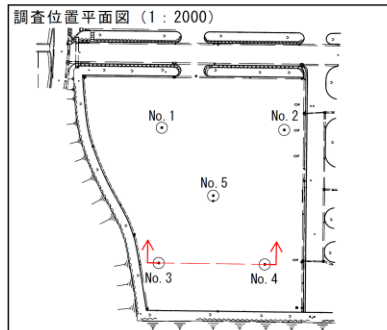
件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松樹町坂元1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 2-No. 5-No. 3]		
図面番号	7/7	縮尺	縦 1 : 200 横 1 : 400
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

推定地質断面図

[No. 3-No. 4断面] S = 1 : 200



1/200



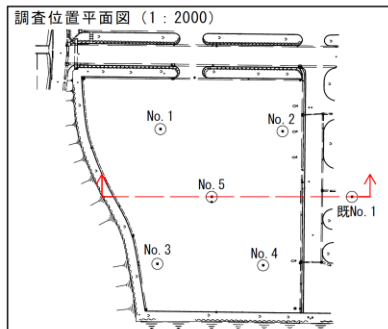
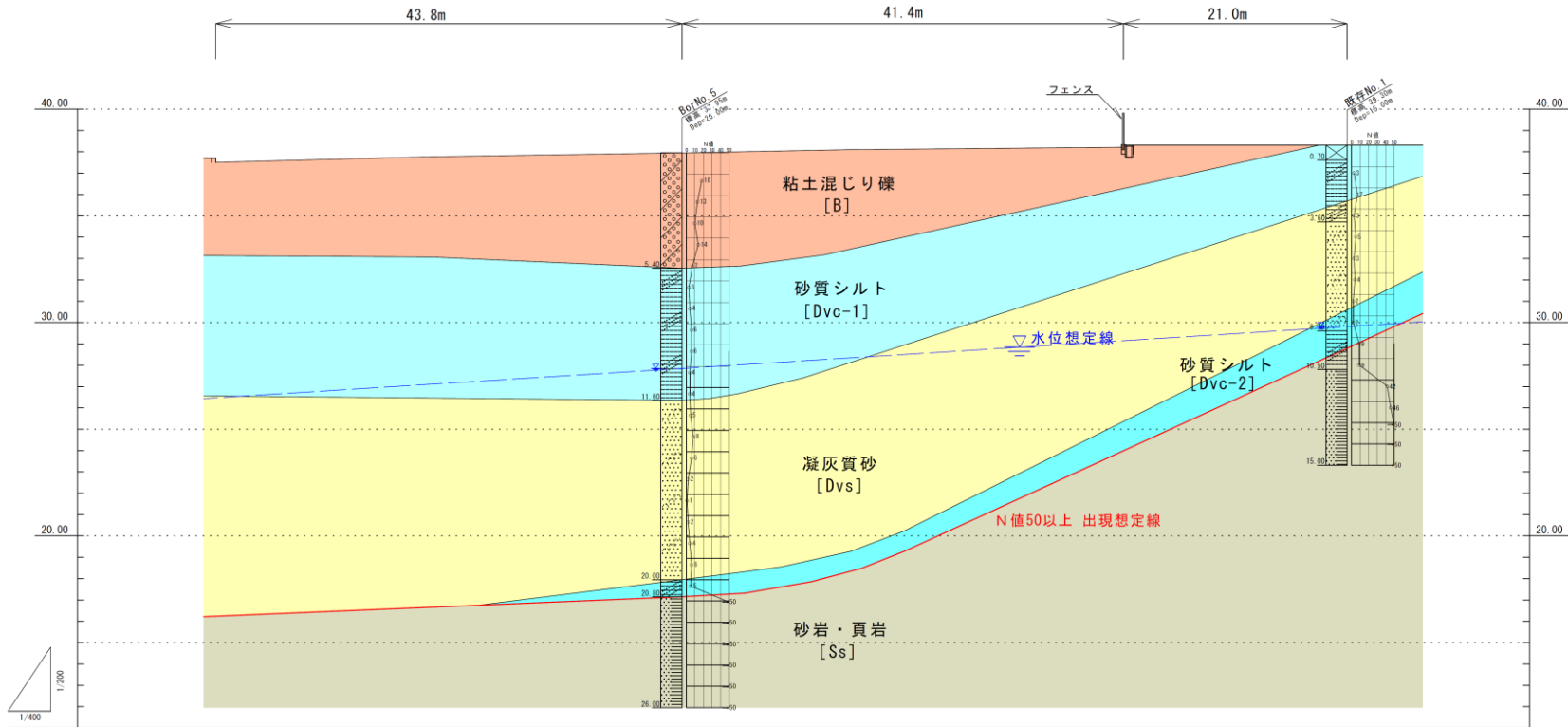
凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	2.90~6.60	10~19 (13.6)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。
堆積物 4 火砕流	灰土(1) 砂質シルト (粘性土)	Dvc-1	2.50~4.40	3~10 (6.0)	「中位」の硬さの粘性土地盤。
	非溶結火砕流 凝灰質砂 (砂質土)	Dvs	11.80	0~9 (1.3)	「非常に緩い」砂質土地盤。
御船層群	風化頁岩 固結粘土 (粘性土)	Sh	2.10	40~42 (41.0)	「非常に硬い」粘性土地盤。
	基盤岩 砂岩・頁岩 (軟岩)	Ss	5.20~5.50	(50以上)	「非常に密な」岩盤。

件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松橋町新尾1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 3-No. 4]		
図面番号	3/7	縮尺	1:200
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

推定地質断面図

[No. 5-既No. 1断面] 縦 S = 1 : 200
横 S = 1 : 400



凡例

地層・地質区分	土質区分	記号	確認層厚 (m)	N値の範囲 (平均)	特徴
盛土	粘土混じり礫 (礫質土)	B	5.40	7~18 (12.4)	造成地盛土。「中位」の締まり程度の礫質土地盤。
阿蘇4火砕流堆積物	灰土(1)	Dvc-1	2.30~6.20	3~7 (4.4)	「中位」の硬さの粘性土地盤。
	非溶結火砕流	Dvs	5.10~8.40	1~8 (3.8)	「非常に緩い」砂質土地盤。
灰土(2)	砂質シルト (粘性土)	Dvc-2	0.80~1.80	5~9 (7.7)	「中位」の硬さの粘性土地盤。
御船層群	砂岩・頁岩 (軟岩)	Ss	5.20	(50以上)	「非常に密な」岩盤。

件名	エネルギー回収型廃棄物処理施設 地質調査業務委託		
委託場所	熊本県宇城市松樹町新虎1775-3		
図面名称	推定地質断面図 [No. 5-既No. 1]		
図面番号	2/7	縮尺	縦 1:200 横 1:400
発注機関名	宇城広域連合 環境衛生課		
コンサル名	有限会社 宮崎地質コンサルタント		

ボーリング柱状図

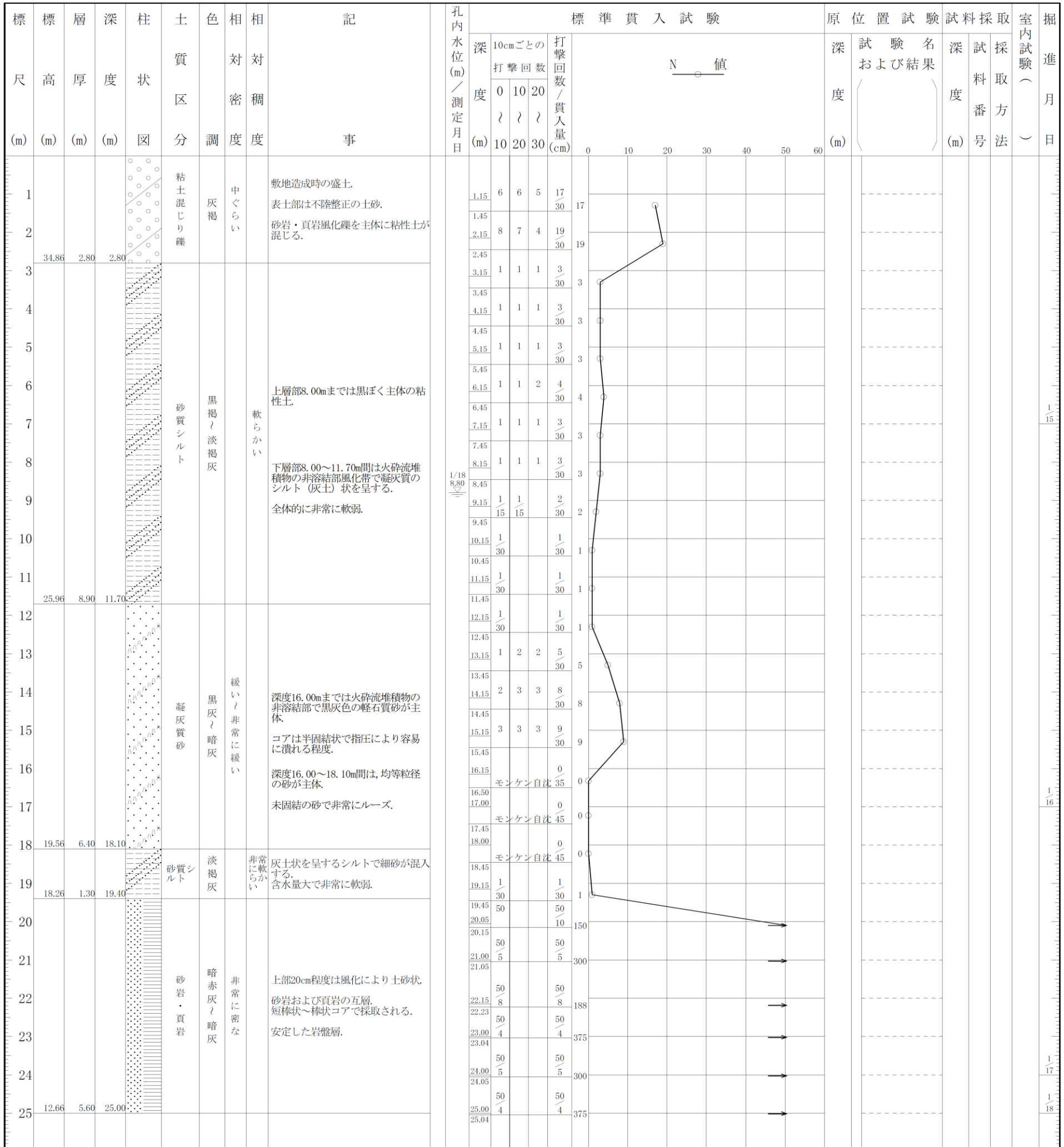
調査名 エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	BorNo. 1		調査位置	宇城市松橋町萩尾1775-3			北緯	32° 39' 42.3"						
発注機関	宇城広域連合 環境衛生課			調査期間	平成 30年 1月 15日 ~ 30年 1月 18日			東経	130° 42' 45.5"					
調査業者名	有限会社 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)		主任技師	中村彰伸		現場代理人	宮崎光一		コア鑑定者	宮崎光一		ボーリング責任者	木下裕史	
孔口標高	37.66m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	東邦DO-D型	
総掘進長	25.00m		度	0°		向			エンジン	ヤンマーNFAD-8		ハンマー落下用具	自動落下法	
									ポンプ	東邦BG-3C				



ボーリング柱状図

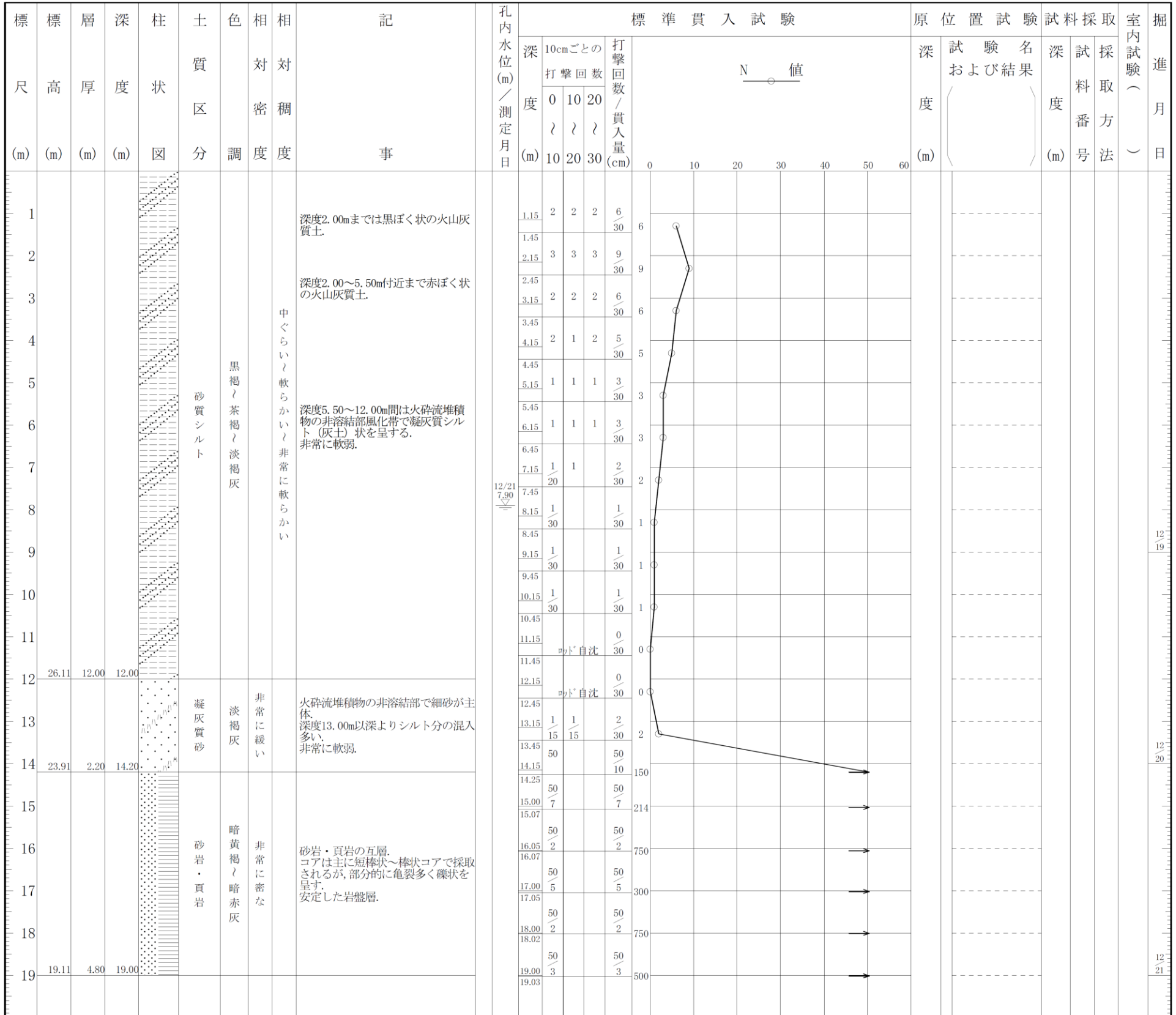
調査名 エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 2

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	BorNo. 2	調査位置	宇城市松橋町萩尾1775-3			北緯	32° 39' 42.3"									
発注機関	宇城広域連合 環境衛生課			調査期間	平成 29年 12月 19日 ~ 29年 12月 22日			東経	130° 42' 47.5"							
調査業者名	有限会社 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)		主任技師	中村彰伸		現場代理人	宮崎光一		コア鑑定者	宮崎光一						
ボーリング責任者	木下裕史															
孔口標高	38.11m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 西 東 90° 180° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	東邦DO-D型		ハンマー落下用具	自動落下法	
総掘進長	19.00m	度	0°		向			エンジン	ヤンマーNFAD-8		ポンプ	東邦BG-3C				



ボーリング柱状図

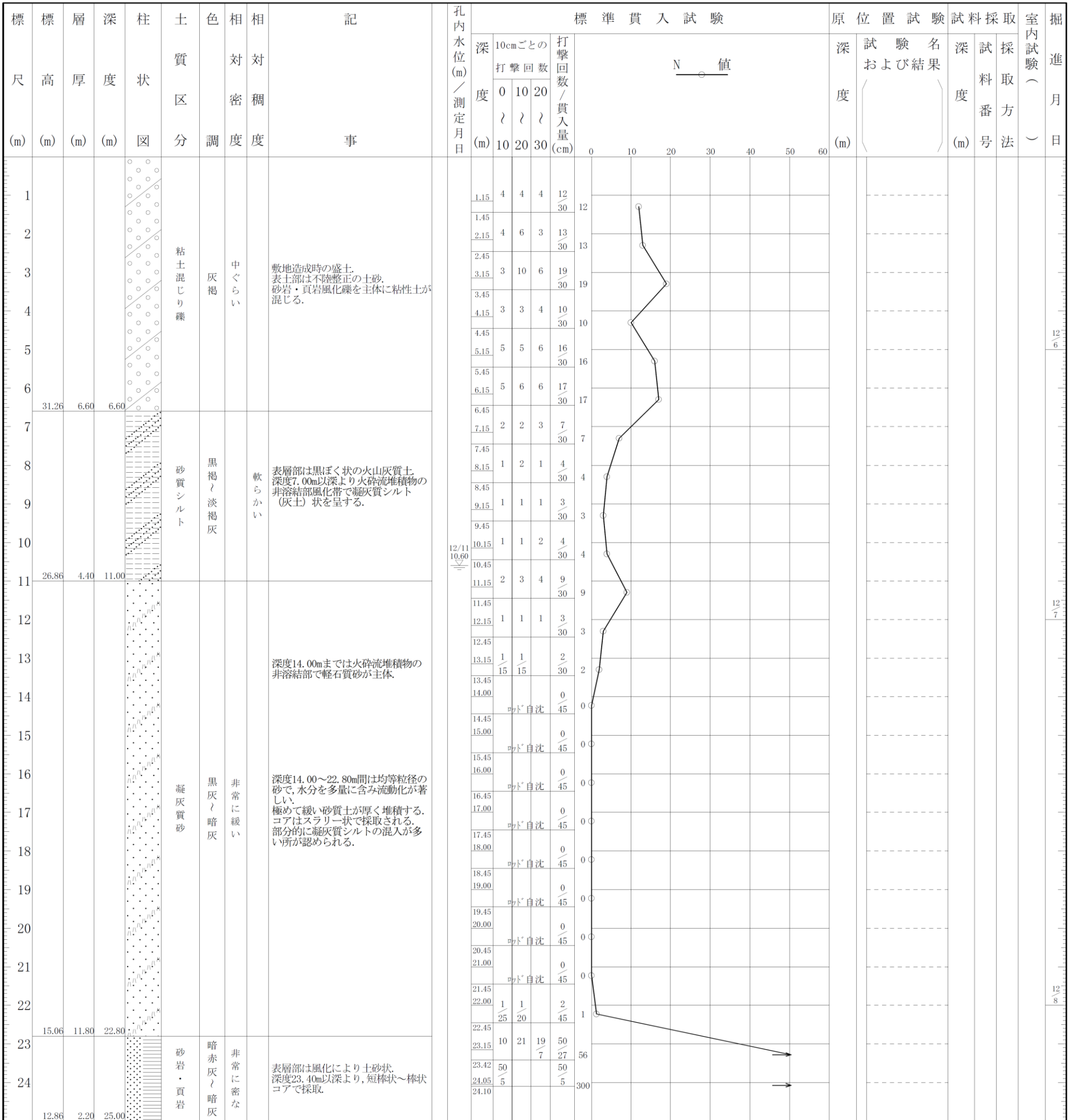
調査名 エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 3

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	BorNo. 3	調査位置	宇城市松橋町萩尾1775-3			北緯	32° 39' 40.3"						
発注機関	宇城広域連合 環境衛生課			調査期間	平成 29年 12月 7日 ~ 29年 12月 11日			東経	130° 42' 45.4"				
調査業者名	有限会社 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)	主任技師	中村彰伸		現場代理人	宮崎光一		コア鑑定者	宮崎光一				
ボーリング責任者				ボ-リング責任者	木下裕史								
孔口標高	37.86m	角	180° 上 90° 0° 下		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°				
総掘進長	28.00m	度	0°		向			使用機種	試錐機				
								東邦D0-D型		ハンマー落下用具	自動落下法		
								エンジン		ポンプ		東邦BG-3C	



ボーリング柱状図

調査名 エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 3

事業・工事名

シートNo. 2

ボーリング名	BorNo. 3		調査位置	宇城市松橋町萩尾1775-3			北緯	32° 39' 40.3"								
発注機関	宇城広域連合 環境衛生課			調査期間	平成 29年 12月 7日 ~ 29年 12月 11日			東経	130° 42' 45.4"							
調査業者名	有限会社 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)		主任技師	中村彰伸		現場代理人	宮崎光一		コア鑑定者	宮崎光一						
ボーリング責任者	木下裕史															
孔口標高	37.86m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	東邦D0-D型		ハンマー落下用具	自動落下法	
総掘進長	28.00m	度	0°		向			試験機	エンジン		ヤンマーNFAD-8		ポンプ	東邦BG-3C		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 ()	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
26				砂岩・頁岩	暗赤灰	非常に密な		深度23.40m以深より、短棒状~棒状コアで採取	25.05 25.08	50 3	50 2	50 3	50					12/9
27				砂岩・頁岩	暗赤灰	非常に密な		安定した岩盤層.	26.00 26.02	50 2	50 2	50 2	750					
28	9.86	5.20	28.00						27.05 27.07	50 2	50 2	50 2	750					
									28.00 28.03	50 3	50 3	50 3	500					12/11

ボーリング柱状図

調査名 エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 4

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	BorNo. 4		調査位置	宇城市松橋町萩尾1775-3			北緯	32° 39' 40.3"						
発注機関	宇城広域連合 環境衛生課			調査期間	平成 29年 12月 1日 ~ 29年 12月 4日			東経	130° 42' 47.1"					
調査業者名	有限会社 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)		主任技師	中村彰伸		現場代理人	宮崎光一		コア鑑定者	宮崎光一		ボーリング責任者	木下裕史	
孔口標高	38.25m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	試験機	
総掘進長	13.00m		度	0°		向			試験機	東邦D0-D型		ハンマー落下用具	自動落下法	
									エンジン	ヤンマーNFAD-8		ポンプ	東邦BG-3C	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N値	原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (掘進月日)	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	度							
1				粘土混じり礫	灰褐色	中ぐらい		敷地造成時の盛土。表土部は不陸整正の土砂。砂岩・頁岩風化礫を主体に粘性土が混じる。	1.15	3	4	4	11/30	11					
2				砂質シルト	暗褐色〜黒褐色	中ぐらい		旧地山面で黒ぼく状の粘性土が主体。	1.45	5	3	3	11/30	11					
3	35.35	2.90	2.90	固結粘土	暗赤	非常に硬い		頁岩の強風化部で固結粘土状を呈す。	2.15	3	3	4	10/30	10					
4				砂岩・頁岩	淡黄褐色〜暗灰	非常に密な		深度11.00mまでは風化砂岩が主体。深度11.00m以深は頁岩主体。短棒状〜棒状コアで採取。全体的に亀裂多い。	3.15	3	3	4	10/30	10					
5	32.85	2.50	5.40						3.45	2	3	3	8/30	8					
6									4.15	2	2	2	6/30	6					
7	30.75	2.10	7.50						4.45	10	15	17	42/30	42					
8									5.15	11	12	17	40/30	40					
9									5.45	13	20	17	50/30	50					
10									6.15	17	25	8	50/30	50					
11									6.45	42	8	8	50/30	50					
12									7.15	50	6	6	50/6	250					
13	25.25	5.50	13.00						7.45	50	5	5	50/5	300					
									8.15	50	9	9	50/9	167					
									8.45	13.10									
									9.15	13.19									

ボーリング柱状図

調査名 エネルギー回収型廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 5

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	BorNo. 5		調査位置	宇城市松橋町萩尾1775-3			北緯	32° 39' 41.3"						
発注機関	宇城広域連合 環境衛生課			調査期間	平成 29年 12月 12日 ~ 29年 12月 16日			東経	130° 42' 46.2"					
調査業者名	有限会社 宮崎地質コンサルタント 電話 (0964-33-2645)		主任技師	中村彰伸		現場代理人	宮崎光一		コア鑑定者	宮崎光一		ボーリング責任者	木下裕史	
孔口標高	37.95m	角	180°上 90° 0°下		方	北 0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	東邦DO-D型		
総掘進長	26.00m	度	0°		向			エンジン	ヤンマーNFAD-8		ハンマー落下用具	自動落下法		
								ポンプ			東邦BG-3C			

